

衆議院議員代表で 赤銅居士が獨逸へ

萬國商事會議出席
包み切れぬ喜びの木村氏。

今秋九月二十四日獨逸、伯
林に於て開催される萬國商
事會議に出席する衆議院代
表者は政友派から四名派遣
されることになつてゐるが
その中本郡選出代議士木村
清治氏はその一名に抜擢さ
れた事は郷土石城は勿論本
縣の誇り更に憲政史上新た
なる記録を残すものとして
とりくたる噂で持切りで
あるが木村代議士は満面に
包切れぬ喜びをたゞにて語
る。

新聞で知つた計りでまだ
歸宅して見ねばどんな手
紙が来てあるか判らぬが
間違いはなからずと思ふ
何せ洋行は初めてゞあ
るし、驪同然だから隨分
不自由だらうと思ふが容
易に行けるものではなし
この機會だから心残りの
ないだけ各方面に亘つて
充分に見物して来るつも
りである。

五月の初旅

磐女修學旅行便り。

(第四信) 五月二十二日
京阪電車にて桃山驛に着
し御陵を參拜す、參道の
兩側は塵一つ無く掃き清
められてあつた、涼風吹
き過ぐれば青葉若葉は小
浪を起し過ぎし後は元の
静けさに戻る、樹林の間
より聞ゆる虫の音?おゝ
!それは蟬の聲ではない
か、蟬にしてはまだ早い

六月十日の 「時」の記念日

時間の各校や團體で宣傳

想の涵養に努める

講演會を開く

二、當日は時に關する講

話

正午一齊に鐘鼓又は汽笛

時計を店頭に掲示し以

て正時を一般に知らしめ

た、先づその方法は左の如

きものである

一、小學校其他學校青年

訓練所に於ては當日兒童

生徒に對して時に關する

講話を行ひ一層これが思

いものである

來る六月十日は時の記念日

に相當し大正九年以來毎年

度時間尊重定時開行等の運

動をなしてゐるが平町では

一般縣民と協力してその日

を記念し各種の事業をな

し、その宣傳に努める事にな

つた、先づその方法は左の如

きものである

正時に合はしめる方法

五、なるべく兒童生徒青

年園等して各戸の時計を

正時に合わせる

六、町長は豫め小學校男

女青年園等と協力して適

切に付いたが人員

三百四十三名であつた

様だが然し耳を正せば太
く、短く、細く、長く「ミー
ンミン」と聞れるではな
いか、それはまがうかた
なく蟬の聲だ。明治大帝
の御陵は後に小高き松山
を負ひ質素な中に崇高的
感があつた、陵を拜し上
げる時そこには何とも云
へぬ森嚴さに打たれた、
それより僅かばかり歩い
て照憲皇太后御陵に参拜
す、歸途乃木神社に詣で
恐れ多きことなるも大帝
の如くに質素と嚴肅なる
乃木將軍幼年時代の家の
模型などを見て桃山を去
つた、桃山より京阪電車
にて京都に向へ、四條大
橋にて下車直ちに嵐山に
向ふべく四條大宮より嵐
山電車に乗る、時に午後
四時十五分、我等を乗せ
し電車は一路嵐山へと疾
走した、嵐山にての三十
分の休息は我等に取つて
あまりに短か過ぎたるじ
るとして、と五月雨が
降つてゐる、旅行最初の
六十四名はボートに寫真
機にと思ひ々々の清遊を
試みた。暮色漸く迫る頃
宿いろは館に着く、意氣
いよいよ上り京の夜を漫
歩す、加茂の囁きに惜し
み京の夏も破られた、見
る限りは館に着く、意氣
あれば青葉若葉は小さ
く過ぐれば青葉若葉は小
さな波浪を起し過ぎし後は元の
静けさに戻る、樹林の間
より聞ゆる虫の音?おゝ
!それは蟬の聲ではない
か、蟬にしてはまだ早い

卅七名の運命や如何 卅七名は決戦日

平町役場からの注意書

前六時より午後七時まで元

平商業學校内に於て執行す

るものにして有権者には豫

て遺漏なきを期して居る

明三十日執行する町會議員

總選舉は兼て告示の通り午

前六時より午後七時まで元

平商業學校内に於て執行す

るものにして有権者には豫

て入場券を配付しあるを以

て當日は此入場券を忘る、

等の事なく受付係に之を示

し係員の捺印を受け名簿對

照所に於て到着番號札を投

票用紙交付所に差出し投票

用紙を受取り投票記載所に

至り被選舉人一人の氏名を記

入せずして場外に出てんと

するもの又は出口に心付か

ず入口に戻らんとするもの

等の事なく受付係に之を示

し係員の捺印を受け名簿對

照所に於て到着番號札を投

票用紙交付所に差出し投票

用紙を受取り投票記載所に

至り被選舉人一人の氏名を記

入せずして場外に出てんと

するもの又は出口に心付か

ず入口に戻らんとするもの

等の事なく受付係に之を示

し係員の捺印を受け名簿對

照所に於て到着番號札を投

票用紙交付所に差出し投票

用紙を受取り投票記載所に

至り被選舉人一人の氏名を記

入せずして場外に出てんと

するもの又は出口に心付か

ず入口に戻らんとするもの

等の事なく受付係に之を示

し係員の捺印を受け名簿對

照所に於て到着番號札を投

票用紙交付所に差出し投票

用紙を受取り投票記載所に

至り被選舉人一人の氏名を記

入せずして場外に出てんと

するもの又は出口に心付か

ず入口に戻らんとするもの

等の事なく受付係に之を示

し係員の捺印を受け名簿對

照所に於て到着番號札を投

票用紙交付所に差出し投票

用紙を受取り投票記載所に

至り被選舉人一人の氏名を記

入せずして場外に出てんと

するもの又は出口に心付か

ず入口に戻らんとするもの

等の事なく受付係に之を示

し係員の捺印を受け名簿對

照所に於て到着番號札を投

票用紙交付所に差出し投票

用紙を受取り投票記載所に

至り被選舉人一人の氏名を記

入せずして場外に出てんと

するもの又は出口に心付か

ず入口に戻らんとするもの

等の事なく受付係に之を示

し係員の捺印を受け名簿對

照所に於て到着番號札を投

票用紙交付所に差出し投票

用紙を受取り投票記載所に

至り被選舉人一人の氏名を記

入せずして場外に出てんと

するもの又は出口に心付か

ず入口に戻らんとするもの

等の事なく受付係に之を示

し係員の捺印を受け名簿對

照所に於て到着番號札を投

票用紙交付所に差出し投票

用紙を受取り投票記載所に

至り被選舉人一人の氏名を記

入せずして場外に出てんと

するもの又は出口に心付か

ず入口に戻らんとするもの

等の事なく受付係に之を示

し係員の捺印を受け名簿對

照所に於て到着番號札を投

票用紙交付所に差出し投票

用紙を受取り投票記載所に

至り被選舉人一人の氏名を記

入せずして場外に出てんと

するもの又は出口に心付か

ず入口に戻らんとするもの

等の事なく受付係に之を示

し係員の捺印を受け名簿對

照所に於て到着番號札を投

票用紙交付所に差出し投票

用紙を受取り投票記載所に

至り被選舉人一人の氏名を記

入せずして場外に出てんと

するもの又は出口に心付か

ず入口に戻らんとするもの

等の事なく受付係に之を示

し係員の捺印を受け名簿對

照所に於て到着番號札を投

票用紙交付所に差出し投票

用紙を受取り投票記載所に